

家庭訪問支援事業

～ つながりづくり ～

就学前の子どもがいるご家庭へ、子育て家庭訪問支援員が訪問しております。

子育て家庭訪問支援員の役割は、ご家庭と市役所等関連機関との「つながりづくり」です。子育ての悩み等について、「どこに相談すれば？」と思った際には、子育て家庭訪問支援員にお声がけいただければ、相談機関へとつなげていきます。

- Q. 子育て家庭訪問支援員ってどんな人になっているの？
- A. 保育、教育の経験者など児童福祉に理解と熱意のある方で、市から委嘱された20名が各地区を分担してまわっています。
- Q. どんな世帯にまわっているの？
- A. 就学前のお子様がいるすべての世帯（約1,000世帯）を訪問しています。

子育て家庭訪問支援員にきました

いっしょに関係を築き上げて

◆活動

学期ごとに対象世帯を1回訪問し、一つの世帯に年3回お伺いしています。訪問した際は「子育て家庭訪問支援情報紙 みらい」を手渡しし、何気ない話題や近況等をうかがったりします。

◆心がけポイント

まずは家庭との「つながりづくり」です。日常会話等を通じて、保護者とのコミュニケーションづくりに努めています。まずは保護者の話を聞き、共感することを心がけています。

◆継続した事業の中で

平成27年度に事業がスタートし、平成28年1月から訪問を開始して3年が経過します。ある家庭で、3歳だった

お兄ちゃんが小学生になり、1歳だった妹が保育所へ通うようになりました。今では道で会ったときにあいさつをししてくれますし、子どもたちを通して祖父母とも話をするようになりました。活動を続けていくことで、これからのつながりを広げていければと思います。

◆地域の役割

まわりに知り合いがおらず、親子で孤独な思いをされている人たちもいます。地域の人たちが子どもたちを普段から見守り、声かけをしていくことが大切だと思います。



子育て家庭訪問支援員
おおうら むつみ
大浦 睦美さん



ひとりで悩まないで
子育て家庭訪問支援員がお伺いします

子どもの成長は家族にとって、とてもうれしいことですね。子育てを通じ、親も「親」として育っていく中で、悩みや不安をもつことも当然あります。そんなとき、ちょっと誰かに話を聞いてもらえたら心が楽になるときもありますよ。

悩む親御さんと関係機関とのつながりづくりのため、家庭訪問支援事業を行っています。



【訪問を受けて】



谷 和香子さんと
お子さん

4人のお子さんを育てる谷さんにお話をうかがいました。

初めて支援員さんが来てくれたときは、自分よりかなり年上の方で、頼れて、親しみやすい人だなという印象でした。毎回同じ方が来てくださるので、心を開きやすく、安心感があります。



市では、相談窓口や各種教室等を通じて子育て支援を行っています。悩みがあっても自分から行動を起こすのが難しいときもありますよね。そういったときは子育て家庭訪問支援員にお話をすると、そこから始めてみませんか？

福祉課（内線394）
家庭児童青少年相談室

TEL 82-3711